

公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー
所管事務調査説明資料

目 次

第 1 章 公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの概要

1 名称、設立年月日、所在地	1
2 設立目的	1
3 事業内容	1
4 基本財産	1
5 組織及び役職員数	2
6 役員及び評議員名簿	3

第 2 章 令和 7 年度決算状況

1 事業報告	4
2 貸借対照表	9
3 正味財産増減計算書	1 0
4 財務諸表に対する注記	1 4
5 附属明細書	1 5
6 財産目録	1 6
7 収支計算書	1 7
8 契約金額が 3 億円以上の工事又は製造の請負の契約	1 7
9 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約	1 7

第 3 章 令和 8 年度事業計画

1 事業計画	1 8
2 収支予算書	2 2

令和 8 年 8 月 25 日

経 済 観 光 文 化 局

第1章 公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの概要

1 名称、設立年月日、所在地

- (1) 名 称 公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー
- (2) 設立年月日 昭和62年 9月 1日
 - ※昭和22年11月 福岡市観光協会設立
 - 昭和40年12月 (社) 福岡市観光協会 (法人化)
 - 昭和62年 9月 (財) 福岡コンベンションビューロー設立
 - 平成 6年 4月 (社) 福岡市観光協会と (財) 福岡コンベンションビューロー合併
 - (財) 福岡観光コンベンションビューローへ名称変更
 - 平成24年 4月 公益財団法人に移行
- (3) 所 在 地 福岡市中央区大名二丁目5番31号

2 設立目的

福岡市及び周辺地域との緊密な連携のもとに、観光客の誘致、コンベンション（国際・国内の各種会議、展示会等をいう。）の誘致等を行うことにより、福岡市における観光及びコンベンションの振興を図り、もって国際、国内観光の振興による人的交流の促進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に寄与することを目的とする。

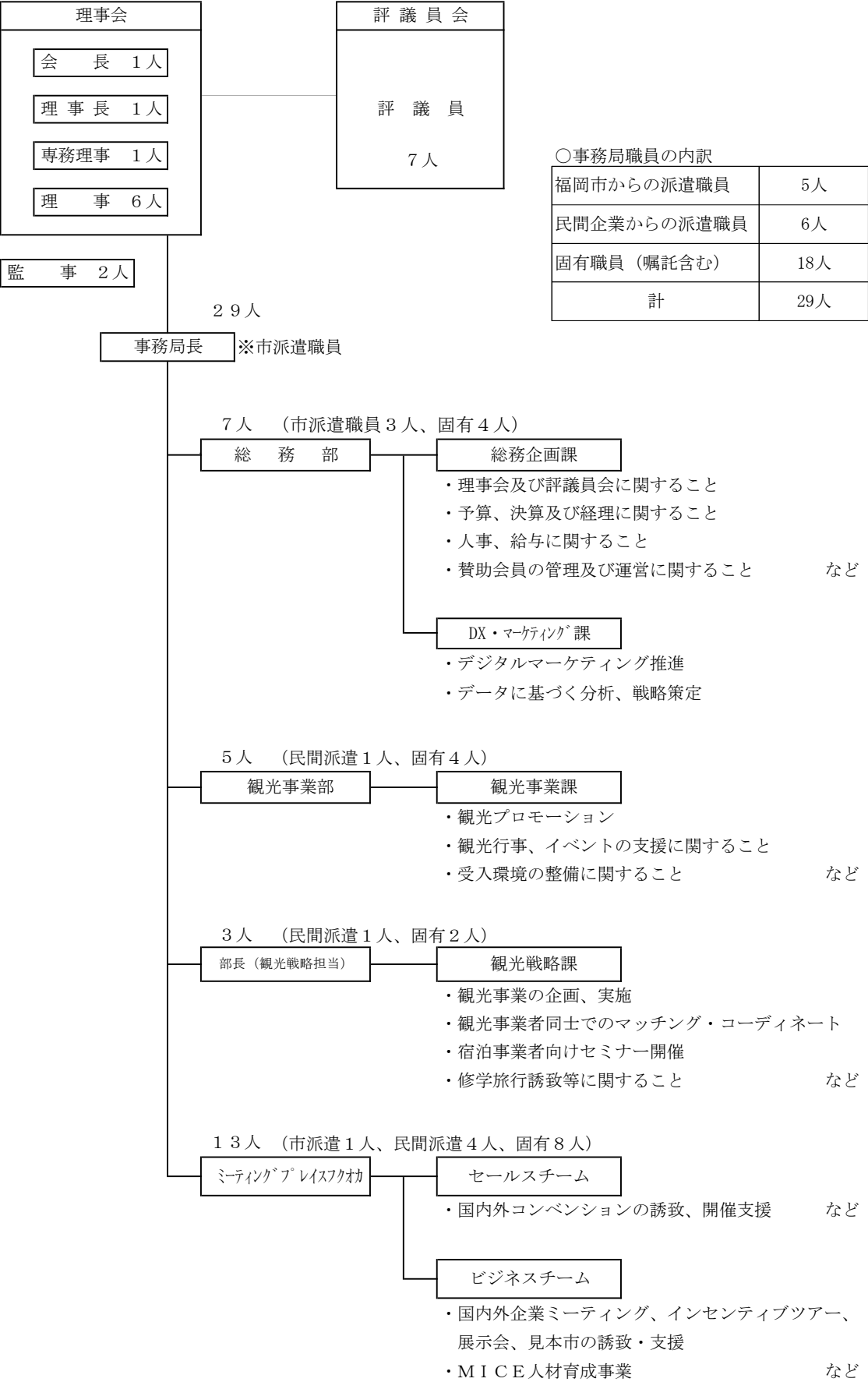
3 事業内容

- (1) 観光客の誘致及び受入
- (2) コンベンションの誘致及び主催者に対する支援
- (3) 観光・コンベンション都市福岡の広報及び宣伝
- (4) 観光及びコンベンションの調査、企画及び開発
- (5) 観光及びコンベンションに関する情報の収集及び提供
- (6) 福岡市からの委託による受託事業の管理運営
- (7) 旅行業法に基づく旅行業
- (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 基本財産

796,000千円（福岡市 755,000千円 94.8%）

5 組織及び役職員数（令和8年度） ※8月1日現在



6 役員及び評議員名簿（令和8年8月1日現在）

○役員

役職名	氏 名	就任年月日	備 考
会 長 (代表理事)	谷 川 浩 道	令和7年6月25日	福岡商工会議所 会頭
理 事 長 (代表理事)	松 本 義 人	令和7年4月1日	西日本鉄道株式会社代表取締役副社長執行役員
専務理事 (業務執行理事)	竹 中 良 孝	令和7年4月1日	(常勤)
理 事	恒 松 孝 二	令和8年4月1日	株式会社クラフティア 執行役員
理 事	豊 福 辰 也	令和7年6月25日	福岡市ホテル旅館協会 会長
理 事	御 手 洗 淳	令和7年6月25日	西部ガスホールディングス株式会社 取締役常務執行役員
理 事	篠 崎 和 敏	令和7年6月25日	一般社団法人日本旅行業協会 九州支部支部長
理 事	吉 田 宏 幸	令和7年7月30日	福岡市 経済観光文化局長
理 事	石 橋 正 信	令和7年4月1日	一般財団法人福岡コンベンションセンター 理事長
監 事	松 下 英 彦	令和7年10月28日	株式会社西日本シティ銀行 地域振興本部副本部長
監 事	大 島 輝 久	令和8年6月26日	株式会社福岡銀行 地域共創部長

○評議員

役職名	氏 名	就任年月日	備 考
評 議 員	倉 元 達 朗	令和8年6月26日	福岡市議会 経済振興委員会 委員長
評 議 員	松 本 恭 子	令和6年6月27日	福岡商工会議所 専務理事
評 議 員	千 相 哲	令和6年6月27日	九州産業大学 副学長/地域共創学部教授(観光学)
評 議 員	松 尾 菊 子	令和8年7月1日	九州電力株式会社 福岡支店 副支店長兼企画・総務部長
評 議 員	中 村 英 一	令和6年6月27日	福岡市 副市長
評 議 員	山 根 久 資	令和6年6月27日	九州旅客鉄道株式会社 取締役 常務執行役員 総務部長 人事部担当
評 議 員	濱 崎 隆	令和8年4月1日	一般社団法人九州観光機構 専務理事 事業本部長

第2章 令和7年度決算状況

1 事業報告

令和7年度は観光地域づくり法人（DMO）としての活動2年目であり、博多旧市街や福岡城・鴻臚館などにおいて、福岡の長い歴史や豊かな伝統文化を伝える仕組みを強化するため、ボランティアガイドの人材確保・育成を図るとともに、人材不足、混雑防止などの観光課題への取組みを進めた。

特に、世界47か国から約600名の観光ガイドのプロフェッショナル等が参加した「世界観光ガイド連盟（WFTGA）総会」では、観光案内や、ユニークベニューとして博物館での交流会開催の支援等を行うことで、福岡市、そして日本の魅力の世界への発信に取り組んだ。

また、MICE開催地として選ばれるため、魅力向上や多様化するMICEニーズに合わせた支援を行い、国際会議の獲得を目指すとともに、誘致の競争力向上に向けて、DMO間の連携としてDMO GATEWAY高輪・品川とパートナーシップを結んだ。

※MICEとは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive tour/Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

※ユニークベニューとは、博物館や歴史的建造物などで、レセプション（式典等）を開催することで特別感や地域特性を演出できる場所。

(1) 地域資源を活かした観光振興及び受入環境の向上

食、歴史、文化、祭り、自然などの地域資源を活用した魅力づくりを推進するとともに、来訪者のニーズを把握しながら、地域と連携した受入環境の向上に取り組んだ。

① 地域資源を活かした観光振興

ア ボランティアガイドの体制づくり

福岡市観光案内ボランティア〔登録数：70名〕

おもてなしサポーター〔登録数：208名〕

イ 観光案内

- ・「定時ツアー」及びまち歩きコースの企画・実施
- ・ガイド派遣依頼への対応
- ・世界観光ガイド連盟（WFTGA）総会における参加者への英語での観光案内等
- ・ユニバーサルツーリズムの推進（車いす対応）

ウ 観光コンテンツの企画・販売

福岡城での観光コンテンツの販売〔販売枚数 御城印：12,144枚、古地図：95枚〕

エ 観光情報の発信

観光情報サイト「よかなび」及び海外向けの観光情報サイト（グローバルサイト）の運用

② 祭りの振興

本市の貴重な観光資源である「博多どんたく港まつり」・「博多祇園山笠」などの祭りや文化的行事の継続的な振興のための支援を行った。

③ 福岡検定の実施〔受検者数：1,114名、合格者数：738名〕

福岡への愛着を深めてもらうとともに、おもてなしの心の醸成を図るため、福岡市、福岡商工会議所との共催により、福岡検定を実施した。

④ 受入環境の向上

国内外からの来訪者の増加に対応し、来訪者が快適に過ごすことができるよう、受入環境の向上に取り組んだ。

ア 観光案内所の管理・運営〔利用人数：540,351人〕

イ クルーズセンターでの受入時の観光案内

ウ 観光ガイドブック等の配布

(2) 観光客の誘致

観光関連事業者や地域、関係団体・機関と連携し、国内外からの観光客の誘致を促進した。

① 宿泊事業者等の人材確保・育成

ア 経営者や人事・採用担当者向けセミナーの開催〔1回、参加者数：44名〕

イ 宿泊事業者向け合同就職説明会〔出展事業者：延べ26社、来場者数：555名〕

ウ 大学生向け企業説明会等〔実施校数：3校、実施回数：6回〕

エ 若手の宿泊業従事者等の人材育成プログラム〔全11回、参加者数：22名〕

② 観光関連産業の連携強化

ア 飲食業向け勉強会の実施〔参加店舗数：39店舗〕

イ 観光関連事業者をつなぐビジネスマッチングの開催〔全6回、延べ24社〕

③ 広域連携誘客事業

ア 国内向けプロモーション

「ツーリズムEXPOジャパン2025」への出展

イ 海外向けプロモーション

「旅行博ITF（台湾）」及び「旅行博TITF（タイ）」への出展

④ 修学旅行による都市圏周遊の推進

都市圏を含む周遊観光を推進し、市内に宿泊する修学旅行への支援を行った。

ア 貸切バス代の支援〔利用実績：251校、738台〕

イ 体験学習プログラムへの参加費支援〔利用実績：96校、6,338人〕

ウ 修学旅行専用サイト等による情報発信

エ モニターツアーの実施

⑤ 福岡型ワーケーション推進事業

長期滞在を支援する特典の提供、受入環境の向上に取り組んだ。

ア 企業向けワーケーションプログラムのプロモーション及び利用料助成〔11 社、81 名〕

イ ワーケーション利用者向け特典の提供

ウ ワーケーションの受入れを支援するパートナー企業交流会の実施

〔2 回、来場者数：19 社 23 名（第 1 回）、13 社 16 名（第 2 回）〕

(3) MICE の誘致及び開催支援

コンベンションや海外インセンティブツアー、ビジネス機会の創出につながる展示会の誘致や、主催者の多様なニーズに合わせた開催支援を実施した。

また、世界観光ガイド連盟（WFTGA）総会では、ユニークベニューとして博物館での交流会開催の支援等を行った。

① MICE 誘致

ア コンベンション誘致〔誘致件数：国際 96 件、国内（参加者 1,000 人以上）16 件〕

イ ミーティング、インセンティブツアー誘致〔誘致人数：23,687 人〕

ウ 展示会・見本市誘致

② MICE 開催支援

ア コンベンション開催支援〔助成金交付件数：国際 26 件、国内：21 件〕

イ ミーティング、インセンティブツアー開催支援

〔助成金交付件数：26 件、記念品提供：81 件、歓迎演出：34 件、伝統芸能等提供：16 件〕

ウ 展示会開催支援〔助成金交付件数：6 件〕

エ ユニークベニュー活用支援〔助成金交付件数：1 件〕

③ MICE 人材育成

大学生等を対象に、MICE に関する講義や、施設の視察、運営補助体験、MICE 関連企業による合同説明会を実施した。〔受講者数：119 名〕

④ 関係機関・団体との連携

ア 観光庁・日本政府観光局など関係団体との連携

イ 業界のグローバルな団体等への加盟

ウ DMO GATEWAY 高輪・品川とパートナーシップ協定を締結

(4) 広報・マーケティング

観光・MICE に関するトピックなど戦略的な情報発信を行った。

① デジタルマーケティング推進

- ア Google ビジネスプロフィールの導入等支援〔支援件数：102 件〕
- イ 観光データの収集、旅行者（国内旅行者・インバウンド）へのアンケート調査
- ウ 入国者の推移、国別の傾向など観光データをまとめたレポートの発信
- エ 観光データを基にした観光客の動向などの講演・セミナー

② 広報活動

- ア SNSを活用した情報発信
- イ メディア取材対応
- ウ 財団ホームページによる情報発信
- エ 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行〔年2回、各2,500部〕

(5) 賛助会員・組織運営

観光地域づくりに向けた多様な関係者との合意形成の場づくりのほか、賛助会員の交流機会やサービスを充実させ、賛助会員の確保を図った。

① 市民や観光関連事業者等の理解促進

- ア 市民を対象とした観光地域づくりセミナーの開催
- イ 賛助会員と共に地域課題等について議論・検討するパートナーズ・ワーキング・グループの開催〔全4回〕

② 賛助会員交流会の開催〔参加者数：180名〕

③ 賛助会員サービスの提供

- ア コンベンションスケジュール及びマーケティングデータの提供
- イ メールマガジンの配信（財団主催イベントや市の施策等の情報提供など）
- ウ 財団のホームページ、機関誌による会員PR・情報発信

(6) 会議

① 理事会の開催状況

会 議 名	開 催 日	内 容
令和7年度 第1回理事会	令和7年4月1日 ※決議の省略	代表理事の選定 専務理事の選定
令和7年度 第2回理事会	令和7年6月3日	令和6年度事業報告及び決算報告 特定費用準備資金の保有 理事の推薦 評議員の推薦 評議員会の開催 事業報告等に係る定期提出書類
令和7年度 第3回理事会	令和7年6月25日 ※決議の省略	代表理事の選定
令和7年度 第4回理事会	令和7年7月23日 ※決議の省略	理事の推薦 評議員会の開催
令和7年度 第5回理事会	令和7年10月16日 ※決議の省略	監事の推薦 評議員会の開催
令和7年度 第6回理事会	令和8年3月30日	令和8年度事業計画案及び収支予算案 公益充実資金取扱規程の制定 事業計画等に係る定期提出書類 理事の推薦 評議員の推薦 評議員会の開催

② 評議員会の開催状況

会 議 名	開 催 日	内 容
令和7年度 第1回評議員会	令和7年4月1日 ※決議の省略	理事の選任 監事の選任
令和7年度 第2回評議員会	令和7年6月25日	令和6年度事業報告及び決算報告 理事の選任 評議員の選任
令和7年度 第3回評議員会	令和7年7月28日 ※決議の省略	理事の選任
令和7年度 第4回評議員会	令和7年10月16日 ※決議の省略	監事の選任
令和7年度 第5回評議員会	令和8年3月30日 ※決議の省略	理事の選任 評議員の選任

※前記①、②の表中の「決議の省略」とは、いわゆる書面決議のことであり、定期の役員選定などについて実施しているものである。事業計画や予算・決算など重要事項については、会議開催により決議している。

2 貸借対照表（令和8年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	302,824,118	251,195,460	51,628,658
定期預金	0	6,036	△ 6,036
未収金	10,135,756	9,837,252	298,504
前払金	126,000	123,000	3,000
商用品	1,495,196	1,634,460	△ 139,264
貯蔵品	310,931	395,210	△ 84,279
立替金	56,700	15,880	40,820
流動資産合計	314,948,701	263,207,298	51,741,403
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	29,618,602	29,618,602	0
普通預金	1,698,248	738,112	960,136
投資有価証券	764,683,150	765,643,286	△ 960,136
基本財産合計	796,000,000	796,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	7,774,220	7,343,610	430,610
ソフトウェア	243,375	1,051,875	△ 808,500
観光・MICE振興事業準備資金	11,650,290	11,400,000	250,290
人件費等準備資金	4,500,000	5,000,000	△ 500,000
特定資産合計	24,167,885	24,795,485	△ 627,600
(3)その他固定資産			
建物附属設備	235,835	339,214	△ 103,379
什器備品	1,016,301	1,212,583	△ 196,282
電話加入権	907,603	907,603	0
預託金	3,000,000	3,000,000	0
その他固定資産合計	5,159,739	5,459,400	△ 299,661
固定資産合計	825,327,624	826,254,885	△ 927,261
資産合計	1,140,276,325	1,089,462,183	50,814,142
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	277,785,217	224,702,764	53,082,453
預り金	1,445,173	2,314,003	△ 868,830
賞与引当金	9,622,541	9,557,792	64,749
流動負債合計	288,852,931	236,574,559	52,278,372
2 固定負債			
退職給付引当金	7,774,220	7,343,610	430,610
固定負債合計	7,774,220	7,343,610	430,610
負債合計	296,627,151	243,918,169	52,708,982
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
負担金	243,375	1,051,875	△ 808,500
福岡市寄付金	755,000,000	755,000,000	0
福岡県寄付金	2,000,000	2,000,000	0
民間寄付金	39,000,000	39,000,000	0
指定正味財産合計	796,243,375	797,051,875	△ 808,500
(うち基本財産への充当額)	(796,000,000)	(796,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(243,375)	(1,051,875)	(△ 808,500)
2 一般正味財産	47,405,799	48,492,139	△ 1,086,340
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(16,150,290)	(16,400,000)	(△ 249,710)
正味財産合計	843,649,174	845,544,014	△ 1,894,840
負債及び正味財産合計	1,140,276,325	1,089,462,183	50,814,142

3 正味財産増減計算書（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

(1) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経 常 収 益			
① 基本財産運用益			
基 本 財 産 受 取 利 息	7,970,318	7,473,880	496,438
② 受取会費			
受 取 賛 助 会 員 会 費	38,535,000	38,165,000	370,000
③ 事業収益			
広 告 料 収 益	474,406	5,759,067	△ 5,284,661
事 業 収 益	4,690,196	35,134,735	△ 30,444,539
販 売 収 益	7,411,126	6,562,327	848,799
④ 受取負担金			
市 人 件 費 負 担 金	80,288,179	61,884,431	18,403,748
市 事 業 費 負 担 金	476,396,089	435,652,592	40,743,497
市 事 業 費 負 担 金 振 替 額	808,500	808,500	0
参 加 者 負 担 等 負 担 金	3,172,300	4,084,900	△ 912,600
事 業 協 力 負 担 金	1,650,000	1,100,000	550,000
⑤ 受託事業収益			
受 託 事 業 収 益	4,600,000	500,000	4,100,000
⑥ 雑 収 益			
受 取 利 息	234,991	44,828	190,163
雑 収 益	510,320	2,800,474	△ 2,290,154
経 常 収 益 計	626,741,425	599,970,734	26,770,691
(2) 経 常 費 用			
① 事 業 費	626,118,614	588,153,050	37,965,564
役 員 報 酬	8,753,360	0	8,753,360
給 料 手 当	88,993,690	93,578,454	△ 4,584,764
臨 時 雇 賃 金	7,541,980	4,608,205	2,933,775
退 職 給 付 費 用	421,998	304,241	117,757
福 利 厚 生 費	24,384,377	23,748,759	635,618
広 告 宣 伝 費	5,230,751	1,236,744	3,994,007
会 議 費	3,506,856	4,539,330	△ 1,032,474
旅 費 交 通 費	13,982,529	15,054,004	△ 1,071,475
通 信 運 搬 費	3,479,200	3,135,569	343,631
什 器 備 品 費	0	137,426	△ 137,426
減 価 償 却 費	1,467,701	1,832,146	△ 364,445
建物附属設備減価償却費	102,345	102,345	0
什器備品減価償却費	556,856	599,062	△ 42,206
ソフトウェア減価償却費	808,500	1,130,739	△ 322,239
消 耗 品 費	3,036,471	2,976,935	59,536
修 繕 費	75,680	33,440	42,240
印 刷 製 本 費	4,337,373	6,765,077	△ 2,427,704
光 熱 水 費	681,826	878,926	△ 197,100
賃 借 料	13,616,033	12,149,335	1,466,698
会 場 費	1,712,536	2,558,851	△ 846,315
諸 謝 金	9,933,635	5,834,735	4,098,900
記 念 品 費	12,137,410	11,001,283	1,136,127
支 払 負 担 金	117,329,324	116,473,815	855,509
手 数 料	29,462,481	14,646,445	14,816,036
委 託 費	262,602,180	253,778,659	8,823,521
租 税 公 課	698,922	2,802,550	△ 2,103,628
保 険 料	277,540	372,090	△ 94,550
賞 与 引 当 金 繰 入 額	9,449,525	9,389,758	59,767
雑 費	3,005,236	316,273	2,688,963

② 管 理 費	1,709,151	1,224,320	484,831
役 員 報 酬	178,640	0	178,640
給 料 手 当	688,555	479,509	209,046
退 職 給 付 費 用	8,612	6,209	2,403
福 利 厚 生 費	389,227	315,275	73,952
会 議 費	1,908	2,904	△ 996
旅 費 交 通 費	10,912	12,589	△ 1,677
通 信 運 搬 費	11,670	11,413	257
什 器 備 品 費	0	723	△ 723
減 価 償 却 費	3,460	5,965	△ 2,505
建 物 附 属 設 備 減 価 償 却 費	1,034	1,034	0
什 器 備 品 減 価 償 却 費	2,426	2,888	△ 462
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	0	2,043	△ 2,043
消 耗 品 費	8,718	5,302	3,416
印 刷 製 本 費	32,420	30,975	1,445
光 熱 水 費	6,887	8,744	△ 1,857
賃 借 場 料 費	114,291	103,356	10,935
会 諸 謝 金	18	75	△ 57
支 払 負 担 金	3,720	616	3,104
手 数 料	18,818	17,819	999
委 託 費	3,611	6,623	△ 3,012
租 税 公 課	48,354	21,960	26,394
賞 与 引 当 金 繰 入 額	5,126	25,986	△ 20,860
雑 費	173,016	168,034	4,982
	1,188	243	945
経 常 費 用 計	627,827,765	589,377,370	38,450,395
当 期 経 常 増 減 額	△ 1,086,340	10,593,364	△ 11,679,704
2 経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 1,086,340	10,593,364	△ 11,679,704
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	48,492,139	37,898,775	10,593,364
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	47,405,799	48,492,139	△ 1,086,340
II 指定正味財産増減の部			
受 取 負 担 金	0	0	0
市 事 業 費 負 担 金	0	0	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 808,500	△ 808,500	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 808,500	△ 808,500	0
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 808,500	△ 808,500	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	797,051,875	797,860,375	△ 808,500
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	796,243,375	797,051,875	△ 808,500
III 正味財産期末残高	843,649,174	845,544,014	△ 1,894,840

(2) 正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	3,985,159	3,985,159	0	0	7,970,318
基本財産受取利息	3,985,159	3,985,159	0	0	7,970,318
② 受取会費	34,681,500	0	3,853,500	0	38,535,000
受取賛助会員会費	34,681,500	0	3,853,500	0	38,535,000
③ 事業収益	12,575,728	0	0	0	12,575,728
広告料収益	474,406	0	0	0	474,406
事業収益	4,690,196	0	0	0	4,690,196
販売収益	7,411,126	0	0	0	7,411,126
④ 受取負担金	560,010,168	1,502,019	802,881	0	562,315,068
市人件費負担金	78,588,279	897,019	802,881	0	80,288,179
市事業費負担金	476,396,089	0	0	0	476,396,089
市事業費負担金振替額	808,500	0	0	0	808,500
参加者負担等負担金	2,567,300	605,000	0	0	3,172,300
事業協力負担金	1,650,000	0	0	0	1,650,000
⑤ 受託事業収益	4,600,000	0	0	0	4,600,000
受託事業収益	4,600,000	0	0	0	4,600,000
⑥ 雑収益	510,320	0	234,991	0	745,311
受取利息	0	0	234,991	0	234,991
雑収益	510,320	0	0	0	510,320
経常収益計	616,362,875	5,487,178	4,891,372	0	626,741,425
(2) 経常費用					
① 事業費	620,933,132	5,185,482	0	0	626,118,614
役員報酬	8,574,720	178,640	0	0	8,753,360
給料手当	88,305,134	688,556	0	0	88,993,690
臨時雇賃金	7,541,980	0	0	0	7,541,980
退職給付費用	387,549	34,449	0	0	421,998
福利厚生費	23,995,151	389,226	0	0	24,384,377
広告宣伝費	5,230,751	0	0	0	5,230,751
会議費	760,104	2,746,752	0	0	3,506,856
旅費交通費	13,963,990	18,539	0	0	13,982,529
通信運搬費	3,315,228	163,972	0	0	3,479,200
減価償却費	1,460,781	6,920	0	0	1,467,701
建物付属設備減価償却費	100,278	2,067	0	0	102,345
什器備品減価償却費	552,003	4,853	0	0	556,856
ソフトウェア減価償却費	808,500	0	0	0	808,500
消耗品費	3,005,567	30,904	0	0	3,036,471
修繕費	75,680	0	0	0	75,680
印刷製本費	4,272,532	64,841	0	0	4,337,373
光熱水費	668,052	13,774	0	0	681,826
賃借料	13,387,451	228,582	0	0	13,616,033
会場費	1,712,500	36	0	0	1,712,536
諸謝金	9,889,196	44,439	0	0	9,933,635
記念品費	12,137,410	0	0	0	12,137,410
支払負担金	117,291,687	37,637	0	0	117,329,324
手数料料	29,455,260	7,221	0	0	29,462,481
委託費	262,505,471	96,709	0	0	262,602,180
租税公課	688,669	10,253	0	0	698,922
保険料	277,540	0	0	0	277,540
賞与引当金繰入額	9,027,871	421,654	0	0	9,449,525
雑費	3,002,858	2,378	0	0	3,005,236

②管 理 費	0	0	1,709,151	0	1,709,151
役 員 報 酬	0	0	178,640	0	178,640
給 料 手 当	0	0	688,555	0	688,555
退 職 給 付 費 用	0	0	8,612	0	8,612
福 利 厚 生 費	0	0	389,227	0	389,227
会 議 費	0	0	1,908	0	1,908
旅 費 交 通 費	0	0	10,912	0	10,912
通 信 運 搬 費	0	0	11,670	0	11,670
減 価 償 却 費	0	0	3,460	0	3,460
建物付属設備減価償却費	0	0	1,034	0	1,034
什器備品減価償却費	0	0	2,426	0	2,426
消 耗 品 費	0	0	8,718	0	8,718
印 刷 製 本 費	0	0	32,420	0	32,420
光 熱 水 費	0	0	6,887	0	6,887
賃 借 料	0	0	114,291	0	114,291
会 場 費	0	0	18	0	18
諸 謝 金	0	0	3,720	0	3,720
支 払 負 担 金	0	0	18,818	0	18,818
手 数 料	0	0	3,611	0	3,611
委 託 費	0	0	48,354	0	48,354
租 税 公 課	0	0	5,126	0	5,126
賞与引当金繰入額	0	0	173,016	0	173,016
雑 費	0	0	1,188	0	1,188
経 常 費 用 計	620,933,132	5,185,482	1,709,151	0	627,827,765
当 期 経 常 増 減 額	△ 4,570,257	301,696	3,182,221	0	△ 1,086,340
2 経常外増減の部					
(1) 経 常 外 収 益					
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用					
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0	0
他 会 計 振 替 前					
当期一般正味財産増減額	△ 4,570,257	301,696	3,182,221	0	△ 1,086,340
他 会 計 振 替 額	423,329	△ 423,329	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,146,928	△ 121,633	3,182,221	0	△ 1,086,340
一般正味財産期首残高	26,372,646	△ 18,446,308	40,565,801	0	48,492,139
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	22,225,718	△ 18,567,941	43,748,022	0	47,405,799
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産への振替額	△ 808,500	0	0	0	△ 808,500
一般正味財産への振替額	△ 808,500	0	0	0	△ 808,500
当期指定正味財産増減額	△ 808,500	0	0	0	△ 808,500
指定正味財産期首残高	399,051,875	398,000,000	0	—	797,051,875
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	398,243,375	398,000,000	0	—	796,243,375
III 正味財産期末残高	420,469,093	379,432,059	43,748,022	—	843,649,174

4 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

- ① 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の有価証券については償却原価法（定額法）を採用している。
- ② 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用している。
- ③ 固定資産の減価償却の方法
定額法を採用している。
- ④ 引当金の計上基準
ア 退職給付引当金については期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
イ 賞与引当金については支給見込額の当期負担分を計上している。
- ⑤ 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(2) 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定 期 預 金	29,618,602	0	0	29,618,602
普 通 預 金	738,112	960,136	0	1,698,248
投 資 有 価 証 券	765,643,286	0	960,136	764,683,150
小 計	796,000,000	960,136	960,136	796,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	7,343,610	430,610	0	7,774,220
ソ フ ト ウ ェ ア	1,051,875	0	808,500	243,375
観光・MICE振興事業 準 備 資 金	11,400,000	250,290	0	11,650,290
人件費等準備資金	5,000,000	0	500,000	4,500,000
小 計	24,795,485	680,900	1,308,500	24,167,885
合 計	820,795,485	1,641,036	2,268,636	820,167,885

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定 期 預 金	29,618,602	(29,618,602)	(0)	(-)
普 通 預 金	1,698,248	(1,698,248)	(0)	(-)
投 資 有 価 証 券	764,683,150	(764,683,150)	(0)	(-)
小 計	796,000,000	(796,000,000)	(0)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	7,774,220	(0)	(0)	(7,774,220)
ソ フ ト ウ ェ ア	243,375	(243,375)	(0)	(-)
観光・MICE振興事業 準 備 資 金	11,650,290	(0)	(11,650,290)	(-)
人件費等準備資金	4,500,000	(0)	(4,500,000)	(-)
小 計	24,167,885	(243,375)	(16,150,290)	(7,774,220)
合 計	820,167,885	(796,243,375)	(16,150,290)	(7,774,220)

(4) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建 物 附 属 設 備	1,033,796	797,961	235,835
什 器 備 品	5,521,643	4,505,342	1,016,301
ソ フ ト ウ ェ ア (特 定)	4,042,500	3,799,125	243,375
電 話 加 入 権	907,603	0	907,603
合 計	11,505,542	9,102,428	2,403,114

(5) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価、評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価、評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益	参考			
				額 面	利率 (%)	受取利息	期間(年)
兵庫県平成23年度第1回15年公債	200,000,000	200,440,000	440,000	200,000,000	1.660%	3,320,000	15
第137回福岡北九州高速道路公社債	100,000,000	89,690,000	△ 10,310,000	100,000,000	1.241%	1,241,000	20
第151回利付国債	75,733,550	69,384,500	△ 6,349,050	75,500,000	1.200%	906,000	20
第158回利付国債	139,899,200	115,178,000	△ 24,721,200	140,000,000	0.500%	700,000	20
第154回福岡北九州高速道路公社債	150,000,000	109,980,000	△ 40,020,000	150,000,000	0.497%	745,500	20
第2回埼玉県公募公債15年	99,050,400	96,160,000	△ 2,890,400	100,000,000	0.869%	869,000	5
合 計	764,683,150	680,832,500	△ 83,850,650	765,500,000		7,781,500	

(6) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取負担金						
受 取 負 担 金	福岡市	1,051,875	556,684,268	557,492,768	243,375	指定正味財産
合 計		1,051,875	556,684,268	557,492,768	243,375	

(7) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	7,970,318
減価償却費計上による振替額	808,500
合 計	8,778,818

5 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資 産 の 種 類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期帳簿価額
基本財産	定 期 預 金	29,618,602	0	0	29,618,602
	普 通 預 金	738,112	960,136	0	1,698,248
	投 資 有 価 証 券	765,643,286	0	960,136	764,683,150
	基本財産計	796,000,000	960,136	960,136	796,000,000
特定資産	退職給付引当資産	7,343,610	430,610	0	7,774,220
	ソフトウエア	1,051,875	0	808,500	243,375
	観光・MICE振興事業準備資金	11,400,000	250,290	0	11,650,290
	人件費等準備資金	5,000,000	0	500,000	4,500,000
	特定資産計	24,795,485	680,900	1,308,500	24,167,885

(2) 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	7,343,610	430,610	0	0	7,774,220
賞与引当金	9,557,792	9,622,541	9,557,792	0	9,622,541

6 財産目録（令和8年3月31日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金預金	普通預金 西日本シティ銀行天神支店 福岡銀行福岡市庁内支店 福岡中央銀行本店営業部	運転資金 運転資金 運転資金	198,397,648 102,859,818 1,566,652
	未収金	受託事業収入等	公益目的事業、管理業務	10,135,756
	商品	コンベンションバッグ・御城印・古地図	公益目的事業	1,495,196
	貯蔵品	切手・収入印紙	管理業務	310,931
	前払金	ボランティア活動保険	公益目的事業	126,000
	立替金	セミナー会場費	公益目的事業	56,700
流動資産合計				314,948,701
（固定資産）				
基本財産	定期預金	西日本シティ銀行天神支店	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	6,420,178
		福岡銀行福岡市庁内支店	〃	13,198,424
		福岡中央銀行本店営業部	〃	10,000,000
	普通預金	西日本シティ銀行天神支店	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	1,698,248
	投資有価証券	兵庫県平成23年度第1回15年公債	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	200,000,000
		第137回福岡北九州高速道路公社債	〃	100,000,000
		第151回利付国債	〃	75,733,550
		第158回利付国債	〃	139,899,200
		第154回福岡北九州高速道路公社債	〃	150,000,000
		第2回埼玉県公募公債15年	〃	99,050,400
特定資産	退職給付引当資産	西日本シティ銀行天神支店	退職金の財源	7,774,220
	ソフトウェア	MICEアプリケーション等	公益目的事業	243,375
	観光・MICE振興事業準備資金	西日本シティ銀行天神支店	将来の観光・MICE振興事業（新規・拡充）の準備資金	11,400,000
	人件費等準備資金	西日本シティ銀行天神支店	〃	250,290
その他 固定資産	建物附属設備	LAN配線移設工事	共用財産（事務所内工事代）	235,835
	什器備品	スライド式収納庫等	共用財産（事務所内備品）	1,016,301
	電話加入権	電話加入権 回線	共用財産（事務所用）	907,603
	預託金	福岡法務局・第3種旅行業営業保証金	収益事業	3,000,000
固定資産合計				825,327,624
資産合計				1,140,276,325
（流動負債）				
	未払金	観光案内所他完了払い金等	公益目的事業、管理業務	277,785,217
	預り金	社会保険料、雇用保険、源泉所得税	役職員、臨時職員他	1,445,173
	賞与引当金	職員	職員21名	9,622,541
流動負債合計				288,852,931
（固定負債）				
	退職給付引当金	職員	職員2名	7,774,220
固定負債合計				7,774,220
負債合計				296,627,151
正味財産				843,649,174

7 収支計算書（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当初予算額	最終予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	7,913,000	7,913,000	7,970,318	△ 57,318
受取会費	40,000,000	40,000,000	38,535,000	1,465,000
事業収益	10,694,000	10,694,000	12,575,728	△ 1,881,728
受取負担金	636,723,000	636,723,000	562,315,068	74,407,932
受託事業収益	500,000	500,000	4,600,000	△ 4,100,000
雑収益	153,000	153,000	745,311	△ 592,311
経常収益計	695,983,000	695,983,000	626,741,425	69,241,575
(2) 経常費用				
事業費	698,323,000	698,323,000	626,118,614	72,204,386
管理費	2,117,000	2,117,000	1,709,151	407,849
経常費用計	700,440,000	700,440,000	627,827,765	72,612,235
当期経常増減額	△ 4,457,000	△ 4,457,000	△ 1,086,340	△ 3,370,660
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,457,000	△ 4,457,000	△ 1,086,340	△ 3,370,660
一般正味財産期首残高	35,968,000	35,968,000	48,492,139	△ 12,524,139
一般正味財産期末残高	31,511,000	31,511,000	47,405,799	△ 15,894,799
II 指定正味財産増減の部				
投資有価証券受取利息	7,913,000	7,913,000	7,970,318	△ 57,318
一般正味財産への振替額	△ 8,721,000	△ 8,721,000	△ 8,778,818	57,818
当期指定正味財産増減額	△ 808,000	△ 808,000	△ 808,500	500
指定正味財産期首残高	797,052,000	797,052,000	797,051,875	125
指定正味財産期末残高	796,244,000	796,244,000	796,243,375	625
III 正味財産期末残高	827,755,000	827,755,000	843,649,174	△ 15,894,174

（注）管理費に計上していた人件費、その他経費のうち、事業の目的のために要する費用については、事業費に計上している。

8 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約

該当なし

9 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約

該当なし

第3章 令和8年度事業計画

1 事業計画

令和8年度は、観光地域づくり法人として、博多旧市街や福岡城・鴻臚館などで福岡の長い歴史や豊かな伝統文化の発信を強化し、昼間観光の充実に取り組み、観光産業と地域の活性化を図る。

MICEにおいては、開催地として選ばれるため、魅力向上や多様化するMICEニーズに合わせた支援を行うとともに、大学をはじめとする関係者との連携強化、欧米豪市場の開拓等により国際会議の獲得を目指し、グローバルMICE都市としての地位を高めていく。

また、福岡市の観光・MICEの取組みの方向性を示した「観光・MICE推進プログラム」が改定されたことを踏まえ、当財団においても観光客の来訪に対する市民の満足度向上と質の高い観光の両立を目指し、持続可能な観光・MICEの取組みを行っていく。

(1) 地域資源を活かした観光振興及び受入環境の向上

食、歴史、文化、祭り、自然などの地域資源を活用した魅力づくりを推進するとともに、来訪者のニーズを把握しながら、地域と連携した受入環境の向上に取り組む。

① 地域資源を活かした観光振興

ア 観光資源を活かした観光案内・まち歩きの推進強化

市民が主体となり福岡のまちの魅力を伝える観光案内ボランティアガイドや多言語対応ができる「おもてなしサポーター」の育成を図り、国内外から福岡を訪れる観光客の多様なニーズに応えることができるよう活動を支援し、来訪者の満足度向上を図る。

イ エリア観光の充実

- ・ユニバーサルツーリズム（すべての人が安心して楽しめる旅行）にも対応した「まち歩き定時ツアー」の実施や、「博多旧市街プロジェクト」と連携した寺社や地域事業者との関係性の構築

ウ 観光コンテンツの企画・販売

エ 観光情報の発信

- ・観光情報サイト「よかなび」での市内イベント情報の発信
- ・福岡市の魅力を海外向けに発信するための観光情報サイト（グローバルサイト）の運用

② 観光関連事業者との共同事業

インバウンド観光客のニーズを捉えた観光関連事業者等と連携した取組みにより、インバウンド消費の拡大を図る。

③ 祭りの振興

本市の貴重な観光資源である「博多どんたく港まつり」・「博多祇園山笠」などの祭りや文化的行事の継続的な振興のための支援を行う。

④ 福岡検定の実施

福岡への愛着を深めてもらうとともに、おもてなしの心の醸成を図るため、福岡市、福岡商工会議所との共催により、「福岡検定」を実施する。

⑤ 受入環境の向上

観光案内所（天神・博多駅）の運営など国内外からの来訪者が快適に過ごすことができるよう受入環境の向上に取り組む。

(2) 観光客の誘致

観光関連事業者や地域、関係団体・機関と連携し、国内外からの観光客の誘致を促進する。

① 宿泊事業者等の人材確保・育成

経営者向けセミナー、合同就職説明会、若手の宿泊業従事者等の人材育成プログラムを実施する。

② 広域連携誘客事業

「ツーリズムEXPOジャパン2026」への出展を行う。

③ 修学旅行による都市圏周遊の推進

市内に宿泊する修学旅行のバス代支援や、体験学習プログラムへの参加費支援等に取り組むことで、都市圏を含む周遊観光を推進する。

④ 福岡型ワーケーション推進事業

専用サイト「W@F（ワフ）」の運営及びパートナー向け交流会を実施する。

(3) MICEの誘致及び開催支援

コンベンションや海外インセンティブツアー、ビジネス機会の創出につながる展示会の誘致や、主催者の多様なニーズに合わせた開催支援を実施する。

① MICE誘致

ア コンベンション誘致

世界的に知名度が高く市の認知度向上につながる国際会議や、市民にも分かりやすいなど福岡らしいシンボリックな国際会議の誘致に引き続き取り組む。

国際会議の誘致主体となる大学教授の誘致から開催までの伴走支援や大学組織との連携を強化し、国際会議の誘致・開催を促進する。

イ ミーティング、インセンティブツアー誘致

大型団体の誘致強化を図るとともに、経済波及効果の拡大のため、欧米豪や東南アジア（直行便が就航していない国）など、新たなターゲットに向けた誘致活動に重点的に取り組む。

ウ 展示会・見本市誘致

展示会・見本市等の主催者が参加する商談会への出展や、福岡での展示会・見本市等の開催可能性が高いターゲットへの集中営業を行い、新規案件の開拓や、展示会主催者の継続支援を行うことで、継続開催・拡張開催を促進していく。

② MICE開催支援

ア コンベンション開催支援

国内大型会議・大会や、外国人が多く参加する国際会議に対して、費用を助成する。

また、一定規模以上の会議に対して、歓迎バナーや伝統芸能など福岡ならではの歓迎演出を行い、主催者や会議参加者の満足度向上を図ることでさらなる誘致促進につなげる。

イ ミーティング、インセンティブツアー開催支援

海外企業主催のミーティング及びインセンティブツアーに対して、文化体験、記念品などの提供を行うほか、大型団体に対しては費用を助成し、誘致力の強化を図る。

ウ 展示会開催支援

市内初開催又は施設の使用面積を拡張して開催する展示会等に対して、費用を助成し、大・中型展示会の開催を促進する。

エ ユニークベニュー活用支援

ユニークベニューを活用して開催されるレセプション等の費用を助成することで、活用を促進し、開催地としての魅力向上を図る。

③ MICE人材育成

将来のMICE業界を担う人材の育成・定着を図るため、大学生等を対象に、MICEに関する講義や施設の視察、運営補助体験、また、業界への就職につながるよう最終プログラムとして、MICE関連企業合同説明会を実施する。

④ 関係機関・団体との連携

MICE誘致に係る情報収集や共同誘致活動などを行う。

ア 観光庁、日本政府観光局、DMO GATEWAY 高輪・品川など関係団体との連携

イ 業界のグローバルな団体等への加盟

(4) 広報・マーケティング

観光・MICEに関するトピックなど戦略的な情報発信を行う。

① デジタルマーケティング推進

ア 観光関連事業者のデジタル対応支援

国内外からの集客を推進するために、店舗や観光施設のWEBでの情報発信等に向けた支援を行う。

イ 観光データの収集・分析・活用

来訪者の周遊行動や興味関心等を把握するために、携帯電話の位置情報データの活用や国内外の観光客へのアンケート調査による分析を行い、観光関連事業者へ情報共有を行う。

② 広報活動

- ア SNSを活用した情報発信
- イ メディア取材対応
- ウ 財団ホームページによる情報発信
- エ 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行

(5) 賛助会員・組織運営

観光地域づくりに向けた多様な関係者との合意形成の場づくりのほか、賛助会員の交流機会やサービスを充実させ、賛助会員の確保を図る。

① 賛助会員間の連携促進

賛助会員と共に地域課題等について議論・検討するパートナーズ・ワーキング・グループを開催する。

② 賛助会員交流会の開催

賛助会員間の交流促進のため、PRブースの設置等を行う。

③ 賛助会員サービスの提供

- ア コンベンションスケジュール及びマーケティングデータの提供
- イ メールマガジンの配信
- ウ 財団のホームページ、機関誌による会員PR・情報発信

2 収支予算書（令和8年4月1日から令和9年3月31日まで）

(1) 収支予算書

（単位：千円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経 常 収 益			
基本財産運用益	7,786	7,913	△ 127
受 取 会 費	41,376	40,000	1,376
事 業 収 益	9,652	10,694	△ 1,042
受 取 負 担 金	634,613	636,723	△ 2,110
受 託 事 業 収 益	4,400	500	3,900
雑 収 益	313	153	160
経 常 収 益 計	698,140	695,983	2,157
(2) 経 常 費 用			
事 業 費	703,731	698,323	5,408
・福岡の魅力づくり	111,679	106,613	5,066
・観光客誘致・受入	129,569	150,984	△ 21,415
・MICE誘致・支援	262,286	235,283	27,003
・情報発信・広報	73,958	87,407	△ 13,449
・賛助会員・組織運営	5,296	4,587	709
・給与費等	120,943	113,449	7,494
管 理 費	2,453	2,117	336
経 常 費 用 計	706,184	700,440	5,744
当期経常増減額	△ 8,044	△ 4,457	△ 3,587
2 経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,044	△ 4,457	△ 3,587
一般正味財産期首残高	44,035	35,968	8,067
一般正味財産期末残高	35,991	31,511	4,480
II 指定正味財産増減の部			
投資有価証券受取利息	7,786	7,913	△ 127
一般正味財産への振替額	△ 8,594	△ 8,721	127
当期指定正味財産増減額	△ 808	△ 808	0
指定正味財産期首残高	796,244	797,052	△ 808
指定正味財産期末残高	795,436	796,244	△ 808
III 正味財産期末残高	831,427	827,755	3,672

(2) 収支予算書内訳書

(単位：千円)

科 目	内 訳 表				
	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経 常 収 益					
基本財産運用益	3,893	3,893	0	0	7,786
受取会費	37,238	0	4,138	0	41,376
事業収益	8,652	1,000	0	0	9,652
受取負担金	623,688	6,025	4,900	0	634,613
受託事業収益	4,400	0	0	0	4,400
雑収益	5	0	308	0	313
経常収益計	677,876	10,918	9,346	0	698,140
(2) 経 常 費 用					
事業費	694,897	8,834	0	0	703,731
・福岡の魅力づくり	111,679	0	0	0	111,679
・観光客誘致・受入	129,569	0	0	0	129,569
・MICE誘致・支援	262,286	0	0	0	262,286
・情報発信・広報	73,958	0	0	0	73,958
・賛助会員・組織運営	1,521	3,775	0	0	5,296
・給与費等	115,884	0	0	0	115,884
管理費	0	0	2,453	0	2,453
経常費用計	694,897	8,834	2,453	0	706,184
当期経常増減額	△ 17,021	2,084	6,893	0	△ 8,044
2 経常外増減の部					
(1) 経 常 外 収 益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前	△ 17,021	2,084	6,893	0	△ 8,044
当期一般正味財産増減額					
他会計振替額	962	△ 962	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 16,059	1,122	6,893	0	△ 8,044
一般正味財産期首残高					44,035
一般正味財産期末残高					35,991
II 指定正味財産増減の部					
投資有価証券受取利息	3,893	3,893	0	0	7,786
一般正味財産への振替額	△ 4,701	△ 3,893	0	0	△ 8,594
当期指定正味財産増減額	△ 808	0	0	0	△ 808
指定正味財産期首残高					796,244
指定正味財産期末残高					795,436
III 正味財産期末残高					831,427